

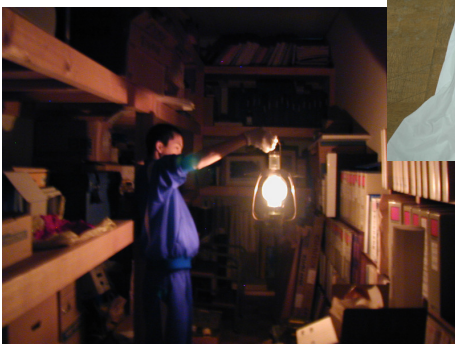
職場体験の様子（別海中央中学校 3 年 T 君）

7 月 13 日（水）～15 日（金）の 3 日間、別海中央中学校 3 年生の T 君が職場体験にきました。郷土資料館の役割や仕事の内容を説明した後、館を見学してもらいました。今回の職場体験では、調査・研究活動を教育普及活動に繋げるといふ、郷土資料館の活動の基本を体験してもらいました。

まず、別海十景でお馴染みの茨散沼へ町郷土研究会のみなさんと植物観察に行きました。貴重な植物の観察を通して、ただ風景が良いという所だけでなく、低層・中層・高層湿原という根室地方でも特異な自然形態を維持しているということ学びました。

次に、所蔵資料を活用して「昔体験セット」の企画を考えました。実際に使用し写真を撮影しながら、その取扱説明書も作成することにしました。道具の使用方法を学び、実際に使ってみると、当時の苦労、道具に込められた知恵と工夫がわかりました。今回は「火鉢」「火ばし」「火のし」「炭火アイロン」「せんべい焼き器」「湯たんぽ」「石油ランプ」などを使いました。この「昔体験セット」は夏休み明けから学校や地域の各団体に貸出する予定です。

以上のことを 3 日間実施しました、なれない場所での体験活動となりましたが、中学生らしい態度と行動、そしてアイデアにより「昔体験セット」というすばらしい教材を作ることが出来ました。



完成した「昔体験セット」